

【オリコンサルグローバル フィリピン南北通勤鉄道の施工監理開始】

フィリピン南北通勤  
鉄道の施工監理開始

オリコンサルグローバル

オリエンタルコンサルタンツグローバルは30日、フィリピンの首都マニラを中心に南北を結ぶ「南北通勤鉄道事業（マロロス・ツツバン）」の施工監理コンサルタント業務の開始を祝う



セレモニー写真を、現地のプロジェクト事務所で行ったと発表した。

式典にはフィリピンの運輸省、国鉄、大統領府、在フィリピン日本大使館、国際協力機構（JICA）の関係者、設計、施工を担当する企業のトップや技術者

ら約70人が参加し、鏡開きなどを行い、工事の安全を祈願した。

同プロジェクトは、マニラ北側のマロロス・ツツバン間延長38キロに高架・駅・車両基地を建設する工事。施工監理業務は、昨年12月にオリエンタルコンサルタンツグローバルを代表とする5社JV（構成員は片平エンジニアリング・インターナショナル、トニーニコンサルタント、パシフィックコンサルタンツ、日本工営）がJICAから144億円で受注した。施工会社を選ぶ入札は18年中に行われる。事業費、工期は非公表。